



## 東 北 方 面

### 大鷹森まで自動車道路

#### 開鑿を 目 論 む

宮城縣桃生郡宮戸村の道路問題は、數年前からの宿案であるが、宮城電鐵第三期線が隣村野蒜村を通過し、且つ白砂青松の同地海岸一帯を遊園地として經營することになつたので、宮戸村民は大鷹森附近まで自動車道路を開鑿して大いに旅客吸収に努

め、尙此機會に於て、野蒜村東名一錢渡しに架橋する計畫を樹てゝある、同村は四邊環海の一孤島として、何等文化的施設なく僅かに大鷹森を以て代表的名勝としてゐたが、更に同島外洋に面した室濱「さがりん」の隠れた勝景が近年探勝客の推賞を買つてゐるから、前記一錢渡しの架橋さへ實現すれば陸路交通の便が開け地方文化の向上を來す譯なので同村民は眞剣となつて之が實現を希望してゐる、

#### 前途遙遠な金華山道路改修

宮城縣牡鹿郡町村長會は六月二十九日午後一時から石ノ巻町會議事堂で開催することとなり定刻菊地渡ノ波、松川女川、大森鮎川、温美大原、勝又蛇田代理、高橋稻井等の各町村長並に宇和野石ノ巻町長外關係者等集會したが定刻前來合せてゐた肝心の萩ノ濱杉浦村長が突然姿を晦ましてしまつたので、集まつた連中八方たづね廻つたが午後四時になつても行方不明なので遂に流會となつた、一日が、りて出て來た半島の町村長連怒るまいことが不平やら怒號やらでなか／＼納らなかつた、杉浦村長が何故に石ノ巻町まで來て會議間際になつて姿を消したか不明であるが、議題の中心といふのは金華山道路の改修寄附問題であるから最初割當た額に對し不平があつたこと明かて屢々交渉せるも未だ圓滿解決を見ず殊に同村長の所有地が先年の第一回萩ノ濱渡ノ波間の道路改修の際つぶされてあり、萩ノ濱村では潰地の分を買収しなければならぬ

のを買収しないのでそのまゝ杉浦村長の損失になつてあるといふ關係もあり、それやこれやの感情問題が介在してあるため此の如き結果となつたものらしく、従て金華山道路改修問題も更に解決が長びくものと見られ關係町村長間にも感情の疎隔が漸次認められて来たから到底豫期の割當可決を見ることは六ヶ敷く自然改修工事も遅れることであらうと郡内各町村も大いに憂慮してゐる、縣當局としても豫定通り工事を進めることは恐らく困難であらう。

## 北陸方面

### 悠久山成願寺間

#### 府縣道大改修

新潟縣下府縣道長岡北荷垣線中悠久山裏より成願寺鑛泉に通ずる延長一里の間は郡廢と共に縣に移管されたものであるが、關

係宇民は道路愛護の念に乏しく幅員六尺乃至九尺の兩側へ勝手に溝を設け稻禾を移植する等の亂暴な行爲をなし甚だしいのは昨夏の水害當時欠潰せる護岸石垣の用石を持ち去る等監督者を手こずらしたが、同府縣道は終點近くに本縣水稻栽培上最も重要視されてゐる縣農事試驗場の原種圃があつて縣内外の農事視察員が常に此處を訪れる關係もあり従つて現在の如き迂餘曲折而も狹隘なる六尺程度の道路では非常に不便を感じるので西大條試驗場長は高橋長岡土木派出所長と協力して改修の爲に奔走してゐる過般土木課長實地視察の際にも益々其の必要を痛感して希望に副ふ様にし度いと語つてゐたとの事であるから試驗場當局一般視察員の熱望と成願寺宇民の懇願が報ひらるる日も遠くあるまいと期待されて居る。

因に右改修は幅員現在六尺平均のものを有效九尺として待避所十ヶ所を設け、自動車の往復に差支なき程度のものとし、縣と

しては原種圃に程近い成願寺鑛泉迄施行する意嚮であると、尙ほ取擱げ改修と共に用地の買収を開始する運びとなつて居るが、關係地主は地方發展の爲め誠意を示しこれが改修の實現を助長すべきであると同村有力者は語つてゐた。

#### 草生津の道路改修

新潟縣長岡市上草生津町(橋上中塊地内)では之まで數回に亘つて、同堤防を取り崩し本妙寺脇の道路と同様平坦道路に改修する様協議を重ねたのであるが、七月十四日午後七時半から之に伴ふ住家移轉問題に就いて具體的方針を決する爲各戸一名宛集合して種々協議の末各戸から調印を求め、市當局に陳情する事に大體決定を見たが、一部の人は町將來伸展のため市當局から早晚改修を命ぜられるであらうからこの際徒らに事を急ぎ、却つて町民の不利となりはせぬかと憂慮し暫く自重以て時期を待つてばど

うかと主張するものもあつて相當論議されたる模様であるから、今後の成行は相當注目されてゐる。

## 東 海 方 面

### 道路愛護の繪畫と標語

愛知縣では、道路共進會の開催と共に、尙ほ一層深く道路愛護の觀念を養成する爲、豫て募集中であつた道路愛護に關するポスター並に標語は、審査の結果左の如く當選した。

#### 繪 畫

一等(五拾圓)

駒井彦四郎

二等(參拾圓)

近藤 三郎

#### 標 語

一等(貳拾圓)

道の愛護は萬人の幸福

小川 幸男

二等(拾圓)

こぼすな汚すな物置くな 鹿島半次郎  
一寸の手入れ、いつも良い道 松下 かく

### 自動車専用道路の出願

愛知縣渥美半島の渥美電鐵終點黒川原から福江町に至る十里五十七鎖に對し、今回渥美電鐵系の有力者等が發起の下に、自動車専用道路敷設の認可を縣へ申請し、關係各町村に亘つて目下諮問調査中だから、沿道に何等の支障の無い限り近く認可の指令に接するものと見られてゐる、同専用道路の計畫に對し福江町方面の一部では、渥美電鐵の延長速成を要望するの餘り、之に反對の態度を執る向もあるけれど、渥美電鐵側では財界不況の折柄急速に福江延長線の工事を施すに於ては、會社の財政状態に少からぬ脅威を感じるばかりでなく、到底其の收支も相償ひ難い状況を察知し、將來軌道敷設の要地買収の前提として、此専用道路を計畫し、一方豊橋自動車會社と密接な

る提携が成立した場合とて先づ黒川原から福江まで軌道豫定線を専用路として自動車を運轉し、會社の堅實なる基礎が成立し一面財界も好轉して、同方面の貨客も輻輳し電車運轉の採算に相當の確信を得る時期の到來を、おもむろに待たんとする計畫らしく、之に依り半島西部も漸次に交通機關の完備に恵まれる事とならう。

### 殿橋竣工式盛大に舉行さる

愛知縣岡崎市内の府縣道乙川通り、殿橋竣工式は、岡崎名物菅生神社の煙火祭日である七月十九日に舉行された、此日小幡縣知事、本多市長の臨席を見、式場の周圍は煙火と渡り初めを見物せんとする群衆で、身動きも出來ぬ程の賑ひを呈した、午後四時神職係員等が殿橋南詰に設けられた明大寺町地内の式場帳舎に、着席し祓式、招神、献饌を濟ますと振鈴を合圖に小幡知事以下諸員着席修祓をなし、中川祭主祝詞を述

べ小幡知事の式辭あり、次に澁江土木部長、工事報告をなし、縣會議長、道路改良會長、代議士、三市長代表殿橋竣工式協賛會長等來賓として祝辭を述べ、中川祭主、小幡知事、本多協賛會長、三夫婦來賓等玉串を奉典し終つて撒饌昇神次ぎに渡橋初めの式に移つたが、先導者に次いで伶人神職、小幡知事及神谷、杉山、中村、山本、福井の五組の三夫婦之れに續き其の後から協賛會長來賓等續々と渡り終つて定め祝宴會場に赴き夜を徹して煙火に打興じた。

## 近畿方面

### 府から出す交通十訓

二千五百臺の自動車が、めまぐるしく疾走するうちに、電車、荷車、自轉車が走る……大阪の近頃の交通状態は日々平均十一件の交通事故を起し、多數の負傷者は犯罪

## 地方通信

に依つて起る傷害に比べて、其の數も非常に多いにも拘らず府民は案外に平氣であるこれが爲め今度大阪府保安課では交通十訓なるものを平易に作つて、營業者、従事員は勿論一般府民に徹底せしめて、交通事故の防止に努める事となり、其の宣傳方法に就ては目下研究中であるが、大體出來上つた交通十訓は次のやうなものである。

- 一 道路は絶対左側を通る事
- 二 諸車の行き違ふ時は互に左方に避けること
- 三 諸車は左の場合には音響器、掛聲その他の合圖をして徐行すること
- イ 交叉點、曲角、雜沓の場所
- ロ 歩道横斷の時
- ハ 安全地帯のない停留所にある電車の横を通る時若し昇降客の集まつてゐる場合は一旦停車すること
- 四 馬や牛は奔逸せない方法を充分講じて置く事

五 自動車は人の乗つてゐる車は追ひ越してはならぬ

六 自動車は最高速力十六哩以下八間未滿の道路では十三哩、三間未滿の道路では十哩以上の速力を出してはならぬ

七 道路を横斷する時は一旦立ち止つて左右を充分見て安全であることを確かめてから眞直ぐに速く横斷する事斜に横切るのは危険が多い

八 停車中の電車や離合電車の直前直後の通り抜けをせない様にする

九 電車や自動車に飛び乗り飛び下りば絶対にせない事

十 交通に關し警察官吏が手や口で合圖をした場合は必ずその指示に従ふ事

## 中國方面

### 道路網調査完成

廣島市の都市計畫に關する道路網は愈決定したので、内務省に認可の申請を爲したが、それに依ると幹線道路は十八線で、延長十七里となつてゐる。此道路に架設する橋梁は二十五で總經費は約三千萬圓であるが、經費の大半は土地買收費に要するもので、地價の評價は現在の價であるから都市實施に當つては、優に六千萬圓を突破するのであらうと見られてゐる。同案は内務省から都市計畫廣島地方委員會に諮問し來り同委員會の決定を待つて内務省が認可することになつてゐる。

### 佐伯郡の山間部は

#### 廣島縣下第一の惡道路

廣島縣佐伯郡の地形は島嶼部、沿海部、山間部に跨り、由來沿海部地方には鐵道電車、國道、府縣道等の道路交通網發達し文化の惠澤を受けること頗る大であるに拘らず、山間部は一大山脈を以て區劃せられて

あるため同地方の文化の程度は頗る低く而も同地方林野の面積は五萬七百町歩あつて全面積の八割強に及びその年産額も約百萬圓を突破して同郡の一大寶庫を形成してゐるが、道路中その幹線ともなる橋縣道にして未改修のもの多くその上幅員頗る狭くして路面亦凹凸多く、縣下第一の惡道路とさへ云はれてゐるので、去る大正十五年には縣會及縣知事内務部長に對してこれが改修方の陳情書を提出したが、今日尙工事に着手されないで同郡では更に七月六七の兩日久米内務部長、土木課長の實地視察を乞ひその際左記の様な陳情書を再び同部長に提出した。

#### 陳 情 書

佐伯郡内に於ける縣道の改良竝に建設に就ては郡民十餘萬多年の熱望にして之が實現を期せんが爲請願又は陳情したること一再ならず最近に於ては昨大正十五年十月二十五日郡下町村長會議に於ける滿場一致の決

議に依り關係團體代表者連署の上縣當局者竝に縣會に對し別紙寫の通り陳情する處ありたり  
貴官今回郡下北部地方に於ける交通及産業狀態等を親しく御巡視あらせられたるは曾て其の例に乏しく郡民擧げて歡喜措く能はざる處にして謹んで感謝の意を表すると同時に今回の御巡視に依り郡民多年の聲が妥當にして緊切なることを立證したることを深く信ず  
希くは貴官の御清鑑に依り郡民の福利増進の爲郡内縣道の改良竝に建設を速に實行せられんことを重ねて茲に陳情致候也

昭和二年七月七日

佐伯郡各町村長 森 川 奎 二  
總代町村町會  
同長廿日市町長